

事業評価の結果（内容評価項目）

福祉サービス種別：障害者支援施設
事業所名：長野県西駒郷駒ヶ根支援事業部

判断基準の「a、b、c」は、評価項目に対する到達状況を示しています。
「a」評価・・・よりよい福祉サービスの水準・状態、質の向上を目指す際に目安とする状態
「b」評価・・・aに至らない状況＝多くの施設・事業所の状態、aに向けた取組みの余地がある状態
「c」評価・・・b以上の取組みとなることを期待する状態

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点（実施している場合は■）	コメント
A	1 利用者の尊重と権利擁護	(1) 自己決定の尊重	① 利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1 利用者の自己決定を尊重するエンパワメントの理念にもとづく個別支援を行っている。 ■ 2 利用者の主体的な活動については、利用者の意向を尊重しながら、その発展を促すように支援を行っている。 ■ 3 趣味活動、衣服、理美容や嗜好品等については、利用者の意思と希望や個性を尊重し、必要な支援を行っている。 ■ 4 生活に関わるルール等については、利用者と話し合う機会（利用者同士が話し合う機会）を設けて決定している。 ■ 5 利用者一人ひとりへの合理的配慮が、個別支援や取組をつうじて具体化されている。 ■ 6 利用者の権利について職員が検討し、理解・共有する機会が設けられている。 	<p>[取り組み状況] 利用者が意思決定をしやすい環境を整え、主体性のある暮らしを目指している。 そのために利用者の自己選択・自己決定を尊重して、利用者の意向を踏まえた個別支援計画に繋げて支援をしている。駒ヶ根日中支援課では今年度グループの再編成に取り組み、利用者が希望するメニューを選択できる機会を増やしている。</p> <p>[改善課題] こうした支援の取り組みや観察結果を個別支援計画に反映し、自己決定を尊重する支援を具体的に職員間で共有するなど、継続的な経験の蓄積による資質の向上につなげることが期待される。</p>
		(2) 権利侵害の防止等	① 利用者の権利侵害の防止等に関する取組が徹底されている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 7 権利侵害の防止等のために具体的な内容・事例を収集・提示して利用者にも周知している。 ■ 8 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。 ■ 9 原則禁止される身体拘束を緊急やむを得ない場合に一時的に実施する際の具体的な手続と実施方法を明確に定め、職員に徹底している。 ■ 10 所管行政への虐待の届出・報告についての手順等を明確にしている。 ■ 11 権利侵害の防止等について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。 ■ 12 権利侵害が発生した場合に再発防止策等を検討し、理解のもとで実践する仕組みが明確化されている。 	<p>[取り組み状況] 人権擁護・虐待防止委員会を設置して、全所を上げての新たな権利侵害防止の取り組みが始まっている。それは職員アンケートを実施し、分析・検討を加え、改善計画の策定に取り組んできている事である。また、定期的に虐待の芽チェックリストを実施して検討を加えたり、外部研修への参加、伝達研修、全職員対象の所内人権研修等々の積極的な取り組みである。</p> <p>そして、緊急やむを得ない身体拘束に関する全ケースの点検・実態調査も実施し、可能な限り拘束に至らないための支援方法を模索するなど、拘束のない支援に向けた新たな取り組みも始めている。</p> <p>それでも、虐待はいつ起こるか分からない。人権のベースに本来何があるのかなど、職員一人ひとりが人権感覚を磨ける環境作りが待たれるところである。</p>

利用者の尊重と権利擁護は、福祉施設・事業所の使命・役割の基本であり、虐待等の権利侵害を防止することは法令で必須とされる事項です。よって、取組の重要性に鑑み、取組が十分でない場合には、「c」評価とします。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	コメント
	2 生活支援	(1) 支援の基本	① 利用者の自律・自立生活のための支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 13 利用者の心身の状況、生活習慣や望む生活等を理解し、一人ひとりの自律・自立に配慮した個別支援を行っている。 ■ 14 利用者が自力で行う生活上の行為は見守りの姿勢を基本とし、必要な時には迅速に支援している。 ■ 15 自律・自立生活のための動機づけを行っている。 ■ 16 生活の自己管理ができるように支援している。 ■ 17 行政手続、生活関連サービス等の利用を支援している。 	<p>[取り組み状況] 一番身近にいる現場担当者を中心に、利用者が自力で行う生活と活動の範囲が広がるように、また、一人ひとりの状況を理解して、その人らしく生活できるように、個別支援計画に基づき支援に取り組んでいる。</p> <p>[改善課題] 支援の基本に立ち返りグループ編成や日課の変更等に取り組んでおり、その成果等を自立に止まることなく、本人の自由度を考慮した自律なども常に検証して、利用者の自律・自立生活のための支援の深みを更に目指す事も期待したい。</p>
			② 利用者の心身の状況に応じたコミュニケーション手段の確保と必要な支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 18 利用者の心身の状況に応じて、さまざまな機会や方法によりコミュニケーションがはかられている。 ■ 19 コミュニケーションが十分ではない利用者への個別的な配慮が行われている。 ■ 20 意思表示や伝達が困難な利用者の意思や希望をできるだけ適切に理解するための取組を行っている。 ■ 21 利用者のコミュニケーション能力を高めるための支援を行っている。 ■ 22 必要に応じて、コミュニケーション機器の活用や代弁者の協力を得るなどの支援や工夫を行っている。 	<p>[取り組み状況] 利用者の高齢化・重度化、また、強度行動障害等によりコミュニケーション手段の確保が難しくなってきた。利用者の心身の状況に応じて様々な機会や絵カードや写真を使った意思表示を活用して、日常的な関りを通して取り組んでいる。</p> <p>[改善課題] 意思疎通が困難な方の場合、観察による判断が主となっている面もあり、より専門性の高い学習の機会の提供が期待される。</p>
			③ 利用者の意思を尊重する支援としての相談等を適切に行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 23 利用者が職員に話したいことを話せる機会を個別に設けている。 ■ 24 利用者の選択・決定と理解のための情報提供や説明を行っている。 ■ 25 利用者の意思決定の支援を適切に行っている。 ■ 26 相談内容について、サービス管理責任者等と関係職員による検討と理解・共有を行っている。 ■ 27 相談内容をもとに、個別支援計画への反映と支援全体の調整等を行っている。 	<p>[取り組み状況] アンケート調査では「食事の時間は楽しい、施設での生活は楽しい」と多くの利用者が答えている中で、「利用者が話したい時に話せる機会が設けられ、思いや悩みを施設として受け止め、関係職員間での情報共有が行われているか」という項目では満足度は低いが、個別支援計画の策定やこれに係るアセスメントでは面接・聞き取りが行われ、これ以外にも生活の様々な場面で機会をとらえて個別の相談に対応している。</p> <p>[改善課題] 利用者の意思決定支援についての取り組みの不十分さも理解しており、研修を含めた今後の取り組みに期待したい。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	コメント
			④ 個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 28 個別支援計画にもとづき利用者の希望やニーズにより選択できる日中活動(支援・メニュー等)の多様化をはかっている。 ■ 29 利用者の状況に応じて活動やプログラム等へ参加するための支援を行っている。 ■ 30 利用者の意向にもとづく余暇やレクリエーションが適切に提供されている。 ■ 31 文化的な生活、レクリエーション、余暇及びスポーツに関する情報提供を行っている。 ■ 32 地域のさまざまな日中活動の情報提供と必要に応じた利用支援を行っている。 ■ 33 個別支援計画の見直し等とあわせて日中活動と支援内容等の検討・見直しを行っている。 	<p>[取り組み状況] 今年度の日中支援課ではグループの再編に取り組み、自分で好きなものを選べるようにして個別活動を充実させ、各グループの特徴がはっきりしてきている。また、美術・音楽・運動の専科活動では専任の講師を迎え、利用者が時間割によるだけでなく好きな時に参加できるようにもしている。皆で「和」を持って、外に「出」て、「楽」しもうというユニークな名前の活動もあるなど、希望により選択できる日課メニューが多様にある。</p> <p>各寮では買い物外出や外食、季節ごとの催し、地域のイベントへの参加等々、スポーツや余暇、レクリエーションが利用者の希望に沿って提供されている。</p> <p>また、個別支援計画策定にあたっては、三者面談などの各種手順を踏んで、寮担当者と日中支援担当者が連携して計画案を策定し、サービス管理責任者の手が入って決定され、支援の実施に至っている。</p>
			⑤ 利用者の障がいの状況に応じた適切な支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 34 職員は障がいに関する専門知識の習得と支援の向上をはかっている。 ■ 35 利用者の障がいによる行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討と理解・共有を行っている。 ■ 36 利用者の不適応行動などの行動障がいに関し個別かつ適切な対応を行っている。 ■ 37 行動障がいなど個別的な配慮が必要な利用者の支援記録等にもとづき、支援方法の検討・見直しや環境整備等を行っている。 ■ 38 利用者の障がいの状況に応じて利用者間の関係の調整等を必要に応じて行っている。 	<p>[取り組み状況] 利用者の障がいによる行動や生活の状況などを把握し、職員間で支援方法等の検討を行っている。課会、ブロック会議、ケース検討会等において、日常的に障がいや支援についての学習を深めている。強度行動障害を持つ利用者に対する個別的な配慮が必要な支援については、環境整備も含めて所全体で検討を重ねている。</p> <p>[改善課題] 居住空間の危険が極端なまでに排除されていることから、苦慮しつつ取り組んでいることが推測できるが、そのことによる他の利用者の環境やリスクなどの課題も見えており、そのための専門知識の事業所全体のスキルの向上の取り組みが期待される。</p>
	(2) 日常的な生活支援	① 個別支援計画にもとづく日常的な生活支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 39 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本としておいしく、楽しく食べられるように工夫されている。 ■ 40 利用者の心身の状況に応じて食事の提供と支援等を行っている。 ■ 41 利用者の心身の状況に応じて入浴支援や清拭等を行っている。 ■ 42 利用者の心身の状況に応じて排せつ支援を行っている。 ■ 43 利用者の心身の状況に応じて移動・移乗支援を行っている。 	<p>[取り組み状況] 献立表を楽しめるものという提案を受けて、イラストで描かれた分かりやすい献立表に変えている。また、ひまわり寮ではそれに写真が添えられて楽しめるものになっている。食生活、入浴、排せつ等の日常生活支援は、一人ひとりについて心身の状況に応じて支援マニュアルが作られて支援の提供が行われている。特に入浴については事故対応・介助の注意事項・手順、入浴時の個別の注意点等、マニュアル等を更新して取り組んでいる。なお、日課を変更し、昼入浴の体制もある。</p> <p>[改善課題] 食事支援については、一人ひとりの状況に応じてた、きめ細かな配慮が期待される。</p>	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	コメント
		(3) 生活環境	① 利用者の快適性と安心・安全に配慮した生活環境が確保されている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 44 利用者の居室や日中活動の場等は、安心・安全に配慮されている。 ■ 45 居室、食堂、浴室、トイレ等は、清潔、適温と明るい雰囲気を保っている。 ■ 46 利用者が思い思いに過ごせるよう、また安眠(休息)できるような生活環境の工夫を行っている。 ■ 47 他の利用者に影響を及ぼすような場合、一時的に他の部屋を使用するなどの対応と支援を行っている。 ■ 48 生活環境について、利用者の意向等を把握する取組と改善の工夫を行っている。 	<p>[取り組み状況] 全室1人部屋でエアコンが設置されており、猛暑にも対応可能である。また、広大な敷地の各所に中庭や畑を設け、その環境は利用者の支援や活動の可能性に広がりを持たせて快適である。</p> <p>ひまわり寮では建物の整備や改修を進め、安全で安心に過ごせる環境整備を進めている。強度行動障害を持つ入所者の受け入れにあたっての環境作りのための改修も実施しており、あらゆる危険を排除して安全を追求した環境には圧倒される。</p> <p>[改善課題] 施設での居住スペースと日中活動スペースにおいては、極力差異の無い環境とするなど、利用者の持続的な安心感の維持の視点も必要と思われる。</p>
		(4) 機能訓練・生活訓練	① 利用者の心身の状況に応じた機能訓練・生活訓練を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 49 生活動作や行動のなかで、意図的な機能訓練・生活訓練や支援を行っている。 ■ 50 利用者が主体的に機能訓練・生活訓練を行えるよう工夫している。 ■ 51 利用者の障がいの状況に応じて専門職の助言・指導のもとに機能訓練・生活訓練を行っている。 ■ 52 利用者一人ひとりの計画を定め、関係職種が連携して機能訓練・生活訓練を行っている。 ■ 53 定期的にモニタリングを行い、機能訓練・生活訓練計画や支援の検討・見直しを行っている。 	<p>[取り組み状況] 新たに言語聴覚士も配置され、特に重度者の嚥下・咀嚼の機能訓練に取り組んでいる。</p> <p>なお、理学療法士については欠員となっており、この状況を補うために、看護師やカイロプロティック資格を持つ運動専科講師が支援しながら個別機能訓練を行っている。</p> <p>[改善課題] 理学療法士の欠員の代替え案として、近くの病院の訪問リハを検討中とのことで、その実現が期待される。</p>
		(5) 健康管理・医療的な支援	① 利用者の健康状態の把握と体調変化時の迅速な対応等を適切に行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 54 入浴、排せつなどの支援のさまざまな場面をつうじて、利用者の健康状態の把握に努めている。 ■ 55 医師又は看護師等による健康相談や健康面での説明の機会を定期的に設けている。 ■ 56 利用者の障がいの状況にあわせた健康の維持・増進のための工夫を行っている。 ■ 57 利用者の体調変化等における迅速な対応のための手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っている。 ■ 58 障がい者・児の健康管理等について、職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。 	<p>[取り組み状況] 具合が悪くても言えない、表情にも表せない重度の障がいを持つ利用者が多くなっており、看護師が体重計測や排便管理等をバロメーターとして健康状態の把握に努めている。</p> <p>ひまわり寮では毎朝全員の体温を計測・入力し、看護師との迅速な連携を取っている。また、医療機関との連携を取りつつ各種検診や健康診断を実施して、利用者の健康の維持管理に努めている。</p> <p>看護師が中心となった医療機関等との連携は強固といえる。</p>

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	コメント
			② 医療的な支援が適切な手順と安全管理体制のもとに提供されている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 59 医療的な支援の実施についての考え方(方針)と管理者の責任が明確であり、実施手順や個別の計画が策定されている。 ■ 60 服薬等の管理(内服薬・外用薬等の扱い)を適切かつ確実に行っている。 ■ 61 慢性疾患やアレルギー疾患等のある利用者については、医師の指示にもとづく適切な支援や対応を行っている。 ■ 62 介護職員等が実施する医療的ケアは、医師の指示にもとづく適切かつ安全な方法により行っている。 ■ 63 医師や看護師の指導・助言のもと、安全管理体制が構築されている。 ■ 64 医療的な支援に関する職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っている。 	<p>[取り組み状況] 健康室マニュアルが整備されており、誤薬発生マニュアル、窒息の対処法、応急処置一覧、インフルエンザ対応マニュアル、ノロウイルス対応マニュアル、食中毒対応マニュアル等々が細部にわたって盛り込まれている。</p> <p>また、利用者個人の健康管理簿が作成され、通院記録等が個人通院ファイルとして綴られている。</p> <p>[改善課題] 事故・ヒヤリハット報告書などは、詳細に原因・対応等が記載され再発防止に取り組む姿があるものの、1週間後、1か月後など、その後の定期的な該当する利用者や職員の改善後の様子を残すなど、改善の確認をもって解決とする体制が期待される。</p>
	(6) 社会参加、学習支援	① 利用者の希望と意向を尊重した社会参加や学習のための支援を行っている。	b)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 65 利用者の希望と意向を把握し、社会参加に資する情報や学習・体験の機会を提供する等、社会参加への支援を行っている。 ■ 66 利用者の外出・外泊や友人との交流等について、利用者を尊重して柔軟な対応や支援を行っている。 ■ 67 利用者や家族等の希望と意向を尊重して学習支援を行っている。 ■ 68 利用者の社会参加や学習の意欲を高めるための支援と工夫を行っている。 	<p>[取り組み状況] 社会参加活動には積極的に取り組んでおり、日中支援では買い物・外食・図書館利用・清掃活動・各種スポーツ大会への参加等、地域社会に触れる機会を多く提供している。また、地域の行事にも積極的に参加し、地域住民との交流も深めている。</p> <p>ひまわり寮やさくら寮の活動にも四季折々の行事や旅行等があり、そのメニューは豊富である。</p> <p>[改善課題] 利用者の特性や希望・意向を尊重したうえで、各種活動における作品の展示会等の催しを増やし、社会参加や学習の意欲を高める支援の工夫も期待したい。</p>	
	(7) 地域生活への移行と地域生活の支援	① 利用者の希望と意向を尊重した地域生活への移行や地域生活のための支援を行っている。	a)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 69 利用者の希望と意向を把握し、地域生活に必要な社会資源に関する情報や学習・体験の機会を提供している。 ■ 70 利用者の社会生活力と地域生活への移行や地域生活の意欲を高める支援や工夫を行っている。 ■ 71 地域生活への移行や地域生活について、利用者の意思や希望が尊重されている。 ■ 72 地域生活への移行や地域生活に関する課題等を把握し、具体的な生活環境への配慮や支援を行っている。 ■ 73 地域生活への移行や地域生活のための支援について、地域の関係機関等と連携・協力している。 	<p>[取り組み状況] 施設で暮らす障がい者の地域生活への移行に西駒郷は率先して取り組んでおり、多くの西駒郷利用者が地域での生活へと移行している。しかし、残る利用者は固定化しており、全利用者を対象として利用者及び家族に移行の希望について聞き取り調査を実施したものの、その数は少ない現状である。</p> <p>そのため、今年度の取り組みとして企画調整課を設置し、地域移行者の目標値の設定を計画している。</p> <p>そして、グループホームの見学等、地域生活に対する理解を深める取り組みや、自活訓練の活用等を検討している。また、地域の相談支援事業所とも連携している。</p> <p>なお、県内各地からの入所や短期入所の相談を受けているため、新たな施設利用希望者についても、入所後の地域移行を視野に入れる必要もあり、その検討も始まっている。</p>	

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	コメント
		(8) 家族等との連携・交流と家族支援	① 利用者の家族等との連携・交流と家族支援を行っている。	b)	<p>■ 74 家族等との連携・交流にあたっては、利用者の意向を尊重して対応を行っている。</p> <p>■ 75 利用者の生活状況等について、定期的に家族等への報告を行っている。</p> <p>■ 76 利用者の生活や支援について、家族等と意見交換する機会を設けている。</p> <p>■ 77 利用者の生活や支援に関する家族等からの相談に応じ、必要に応じて助言等の家族支援を行っている。</p> <p>■ 78 利用者の体調不良や急変時の家族等への報告・連絡ルールが明確にされ適切に行われている。</p> <p>■ 79 利用者の生活と支援に関する家族等との連携や家族支援についての工夫を行っている。</p>	<p>[取り組み状況] 家族等が訪れる様々な行事には、にしこま祭・環境整備・三者面談・課の行事等があり、こうした機会に家族等と連携・交流を深めている。 また、個別支援計画の策定等を通じて利用者の生活や支援についても意見交換を行っている。保護者会の事業にも積極的な参加・協力をして連携を取っている。 広報誌「西駒だより」はカラフルで写真をふんだんに取り入れ分かりやすく、生活の様子が掲載され、楽しみに待つ家族等も多いと思われる。</p> <p>[改善課題] 個別支援計画策定に合わせて実施される三者面談は、家族等と信頼関係を築く貴重な場である。利用者の高齢化はその親族等が高齢という事であり、今後の参加率等を考慮した参加しやすい工夫等が必要と思われる。</p>
	3 発達支援	(1) 発達支援	① 子どもの障がいの状況や発達過程等に応じた発達支援を行っている。		<p>□ 80 子どもの発達過程や適応行動の状況等を踏まえた発達支援(個別支援)を行っている。</p> <p>□ 81 子どもの発達に応じて必要となる基本的日常動作や自立生活を支援するための活動や取組について、個別活動と集団活動等を組み合わせながら実施している。</p> <p>□ 82 子どもの活動プログラムについてはチームで作成するとともに、子どもの状況に応じた工夫や見直しを行っている。</p> <p>□ 83 子どもと保護者に対し、字校及び保育所や認定こども園、児童発達支援事業所等との情報共有、連携・調整をはかっている。</p>	※非該当とする。
	4 就労支援	(1) 就労支援	① 利用者の働く力や可能性を尊重した就労支援を行っている。		<p>□ 84 利用者一人ひとりの働く力や可能性を引き出すような取組や工夫を行っている。</p> <p>□ 85 利用者一人ひとりの障がいに応じた就労支援を行っている。</p> <p>□ 86 利用者の意向や障がいの状況にあわせて、働くために必要なマナー、知識・技術の習得や能力の向上を支援している。</p> <p>□ 87 働く意欲の維持・向上のための支援を行っている。</p> <p>□ 88 仕事や支援の内容について、利用者への定期的な報告と話し合いを行っている。</p> <p>□ 89 地域の企業、関係機関、家族等との連携・協力のもとに就労支援を行っている。</p>	※非該当とする。

評価対象	評価分類	評価項目	評価細目	評価	着眼点(実施している場合は■)	コメント
			② 利用者に応じて適切な仕事内容等となるように取組と配慮を行っている。		<input type="checkbox"/> 90 利用者の意向や障がいの状況に応じた仕事時間、内容・工程等となっている。 <input type="checkbox"/> 91 利用者が選択できるよう、多様な仕事の内容・工程等を提供するための工夫を行っている。 <input type="checkbox"/> 92 仕事の内容・工程等の計画は、利用者で作成するよう努めている。 <input type="checkbox"/> 93 賃金(工賃)等を利用者にわかりやすく説明し、同意を得たうえで適切に支払われている。 <input type="checkbox"/> 94 賃金(工賃)を引き上げるための取組や工夫を行っている。 <input type="checkbox"/> 95 労働安全衛生に関する配慮を適切に行っている。	※非該当とする。
			③ 職場開拓と就職活動の支援、定着支援等の取組や工夫を行っている。		<input type="checkbox"/> 96 職場や受注先の開拓等により仕事の機会の拡大(職場開拓)に努めている。 <input type="checkbox"/> 97 障害者就業・生活支援センターやハローワーク等との連携を定期的かつ適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 98 利用者の障がいの状況や働く力にあわせて、利用者と企業とのマッチングなどの就職支援を適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 99 就労後の利用者と職場との関係づくりなど、職場定着等の支援を必要に応じて行っている。 <input type="checkbox"/> 100 利用者や地域の障がい者が離職した場合などの受入や支援を行っている。 <input type="checkbox"/> 101 地域の企業等との関係性の構築や障がい者が働く場における「合理的配慮」を促進する取組・働きかけを行っている。	※非該当とする。